

水難事故のあらまし

～令和元年中の水難事故と救助活動状況～



岐 阜 県 警 察 本 部

目 次

第 1	水難事故の発生状況	
1	概況 -----	1
2	過去 10 年間の発生状況 -----	2
3	月別発生状況 -----	3
4	場所別発生状況 -----	4
5	態様別発生状況 -----	5
6	曜日別発生状況 -----	6
7	原因別発生状況 -----	6
8	年齢別発生状況 -----	7
9	子ども（中学生以下）の水難事故発生状況 -----	8
10	高齢者（65 歳以上）の水難事故発生状況 -----	9
11	居住地別事故者数 -----	10
第 2	水難救助活動の状況	
1	出動状況 -----	10
2	救助事例 -----	11
3	水難救助訓練実施状況 -----	11
4	小型船舶操縦士の養成 -----	12
第 3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策 -----	12
2	水難事故防止広報活動 -----	13

表 紙 写 真

下呂市、岩屋ダムにおける水難救助訓練
(令和元年 8 月撮影)

第1 水難事故の発生状況

1 概況

[令和元年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生24件（前年比－3件）、事故者25人（前年比－8人）

[事故者の内訳]

- 死亡 17人（前年比 +2人）
- 行方不明 0人（前年比 -1人）
- 負傷 2人（前年比 ±0人）
- 無事救助 6人（前年比 -9人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数・事故者数がともに減少するも死者数は増加。
- 発生件数全体の50%（12件）が8月に集中。
- 発生件数全体の約88%（21件）が河川で発生、うち約43%（9件）が長良川で発生。
- 魚釣り・魚取り中の事故が最多（9件、前年比－5件）
- 高齢者（65歳以上）の事故が全体の約半数を占める。

[水難事故の発生状況(前年比)]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
令和元年	24	25	17	0	1	1	6
平成30年	27	33	15	1	2	0	15
増減	－3	－8	＋2	－1	－1	＋1	－9



警察航空隊・機動隊員による水難救助訓練

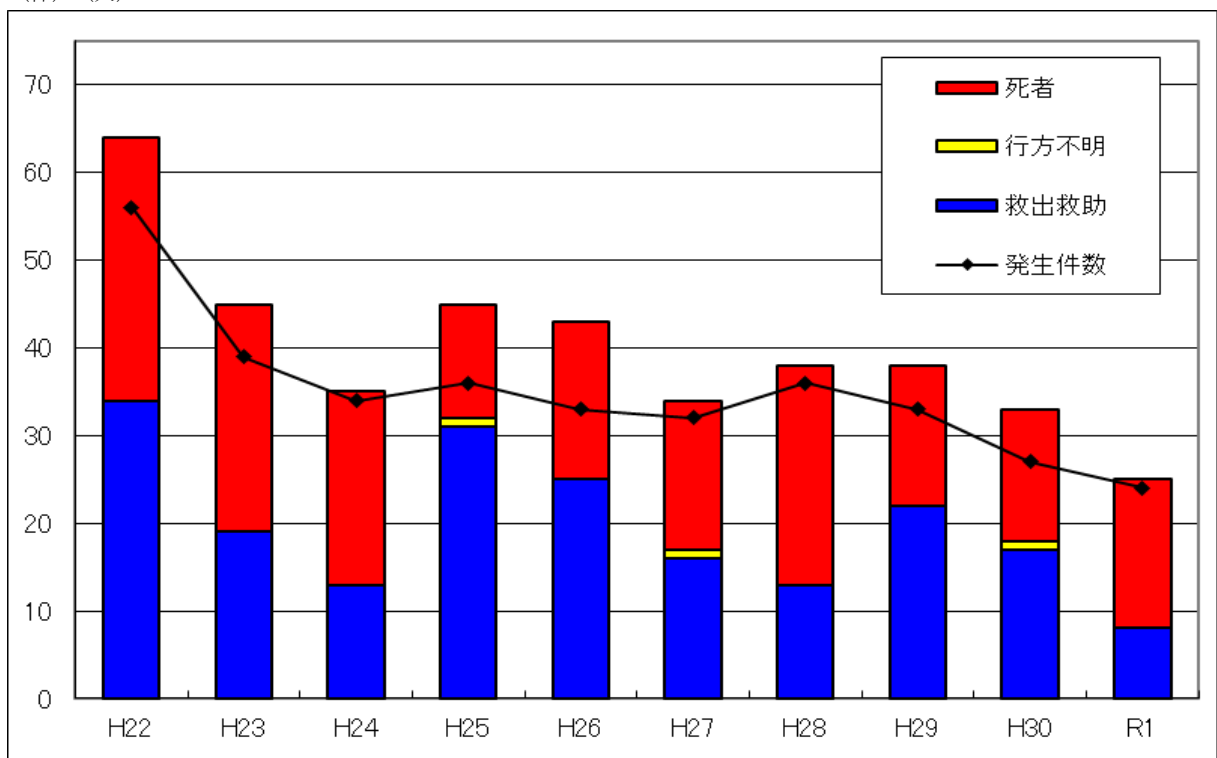
2 過去10年間の発生状況

- 前年に比べ、発生件数・事故者数とも減少し、過去10年間で最も低い数値となった。

[過去10年間の発生状況]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数(人)			
		死亡	行方不明	救出救助	
平成22年	56	64	30		34
平成23年	39	45	26		19
平成24年	34	35	22		13
平成25年	36	45	13	1	31
平成26年	33	43	18		25
平成27年	32	34	17	1	16
平成28年	36	38	25		13
平成29年	33	38	16		22
平成30年	27	33	15	1	17
令和元年	24	25	17		8

(件) (人)



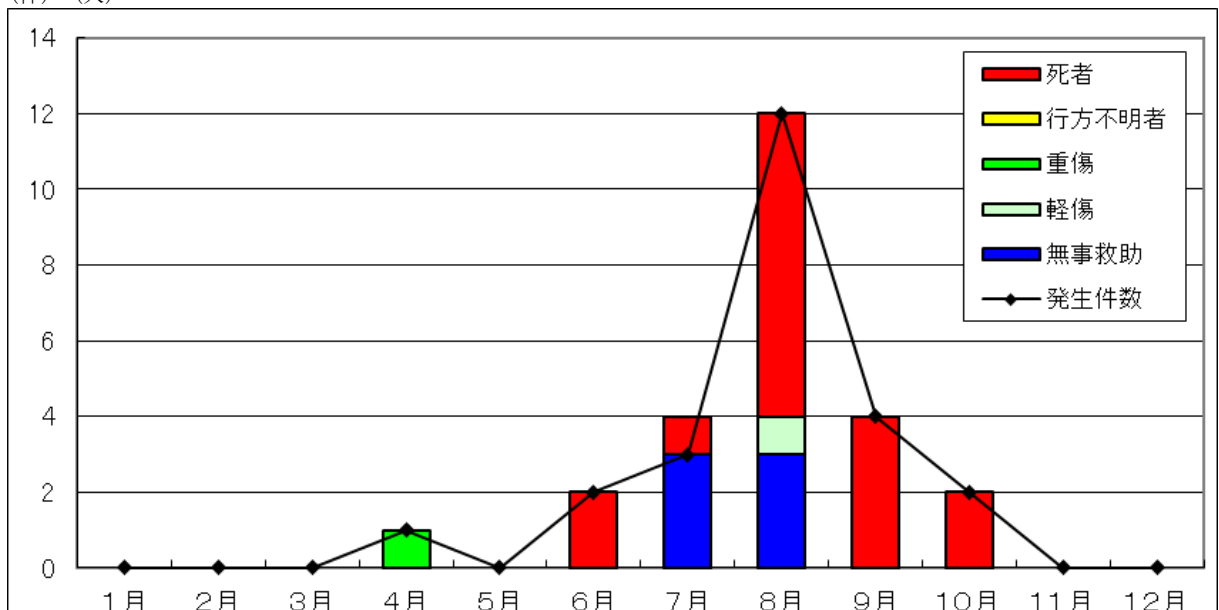
3 月別発生状況

- 8月の発生が、12件（前年比+3件）で全体の50%を占めている。
 事故者数は12人（前年比±0人）で、内訳は、死亡8人（前年比+5人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助4人（前年比-5人）であった。

[月別発生状況]

区分 月別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
1月							
2月							
3月							
4月	1	1			1		
5月							
6月	2	2	2				
7月	3	4	1				3
8月	12	12	8			1	3
9月	4	4	4				
10月	2	2	2				
11月							
12月							
合計	24	25	17		1	1	6

(件) (人)



4 場所別発生状況

- 河川での事故が最も多く、21件（前年比－3件）発生し、全体の約88%を占めている。

事故者数は22人（前年比－8人）で、内訳は、死亡15人（前年比＋3人）、行方不明0人（前年比－1人）、救出救助7人（前年比－10人）であった。

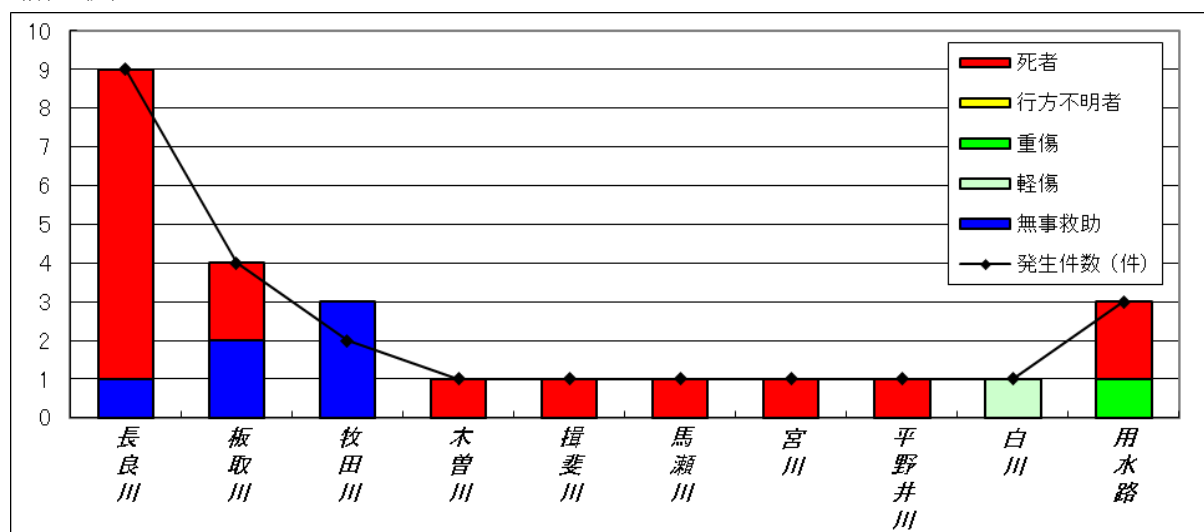
- 河川別では、長良川での発生が最も多く、9件（前年比＋2件）発生し、河川全体の約43%を占めている。

事故者数は9人（前年比－1人）で、内訳は、死亡8人（前年比＋4人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助1人（前年比－5人）であった。

[場所別発生状況]

区分 場所別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
河川	21	22	15			1	6
長良川	9	9	8				1
板取川	4	4	2				2
牧田川	2	3					3
木曾川	1	1	1				
揖斐川	1	1	1				
馬瀬川	1	1	1				
宮川	1	1	1				
平野井川	1	1	1				
白川	1	1				1	
用水路	3	3	2		1		
合計	24	25	17		1	1	6

(件) (人)



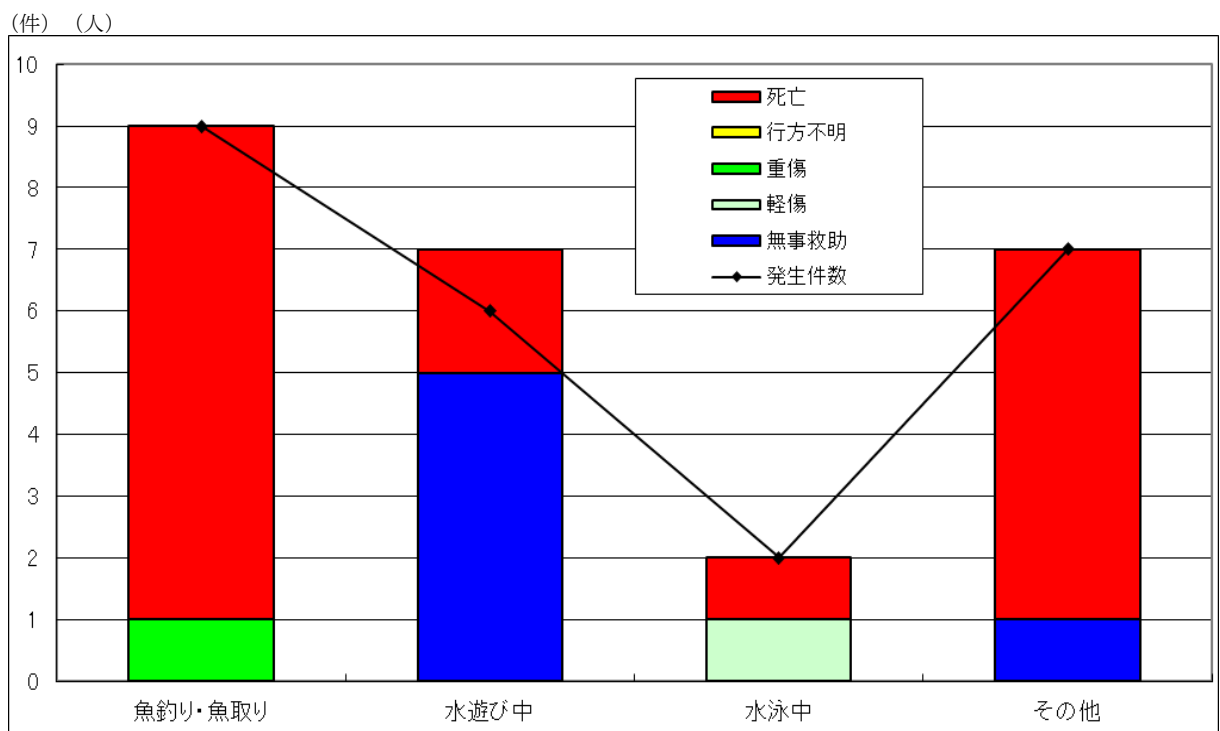
5 態様別発生状況

- 魚釣り・魚取り中の事故が最も多く、9件（前年比－5件）発生し、全体の約38%を占めている。

事故者数は9人（前年比－7人）で、内訳は、死亡8人（前年比＋1人）、行方不明0人（前年比－1人）、救出救助1人（前年比－7人）であった。

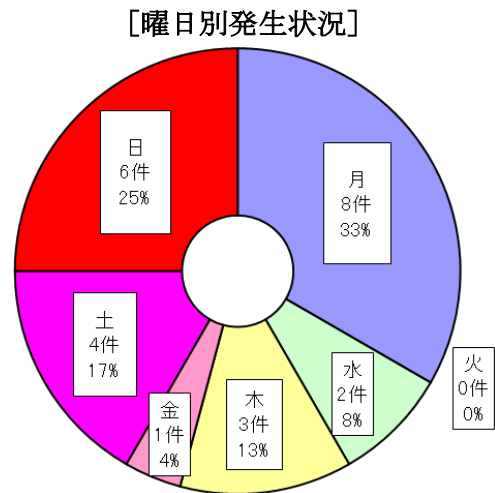
[態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
魚釣り・魚取り中	9	9	8		1		
水遊び中	6	7	2				5
水泳中	2	2	1			1	
その他	7	7	6				1
合計	24	25	17		1	1	6



6 曜日別発生状況

- 月曜日の発生が8件（前年比+5件）と最も多く、全体の約33%を占めている。



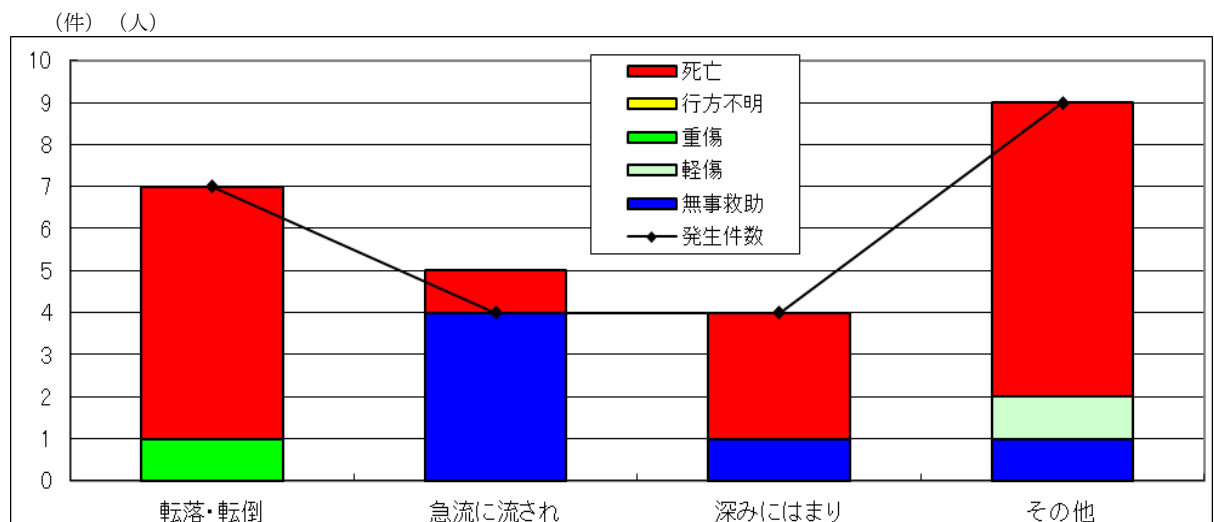
7 原因別発生状況

- 転倒・転落による事故の発生が、7件（前年比+2件）7人（前年比+2人）と最も多い。

事故者数の内訳は、死亡6人（前年比+2人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助1人（前年比±0人）であった。

[原因別発生状況]

区分 原因別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
転落・転倒	7	7	6		1		
急流に流され	4	5	1				4
深みにはまり	4	4	3				1
その他	9	9	7			1	1
合計	24	25	17		1	1	6



8 年齢別発生状況

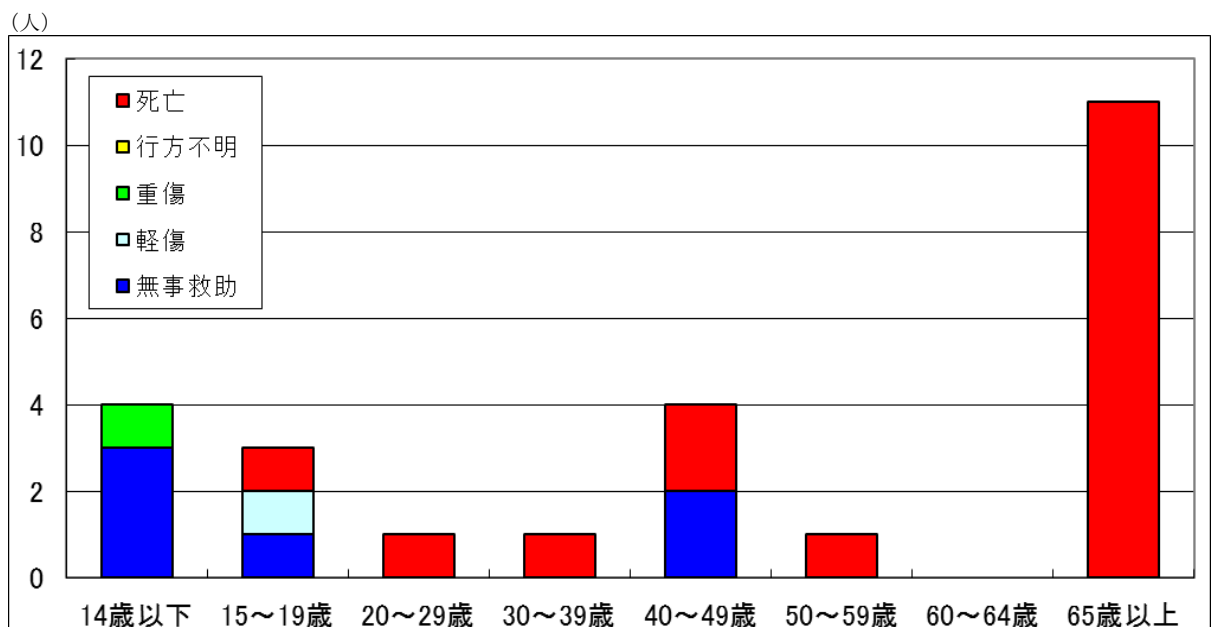
○ 65歳以上の事故が11人（前年比+4人）と最も多く、全体の約44%を占めている。

事故者数の内訳は、死亡11人（前年比+3人）、行方不明0人（前年比-1人）、救出救助0人（前年比-6人）であった。

次いで、14歳以下の事故が4人（前年比+3人）、40～49歳の事故が4人（前年比+2人）と多く、それぞれ全体の約16%を占めている。

[年齢別発生状況]

区 分 年 齢 別	事 故 者 数 (人)					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	4			1		3
15～19歳	3	1			1	1
20～29歳	1	1				
30～39歳	1	1				
40～49歳	4	2				2
50～59歳	1	1				
60～64歳						
65歳以上	11	11				
合 計	25	17		1	1	6



9 子ども（中学生以下）の水難事故発生状況

- 子ども（中学生以下）の事故の発生が、3件（前年比+2件）4人（前年比+3人）であった。

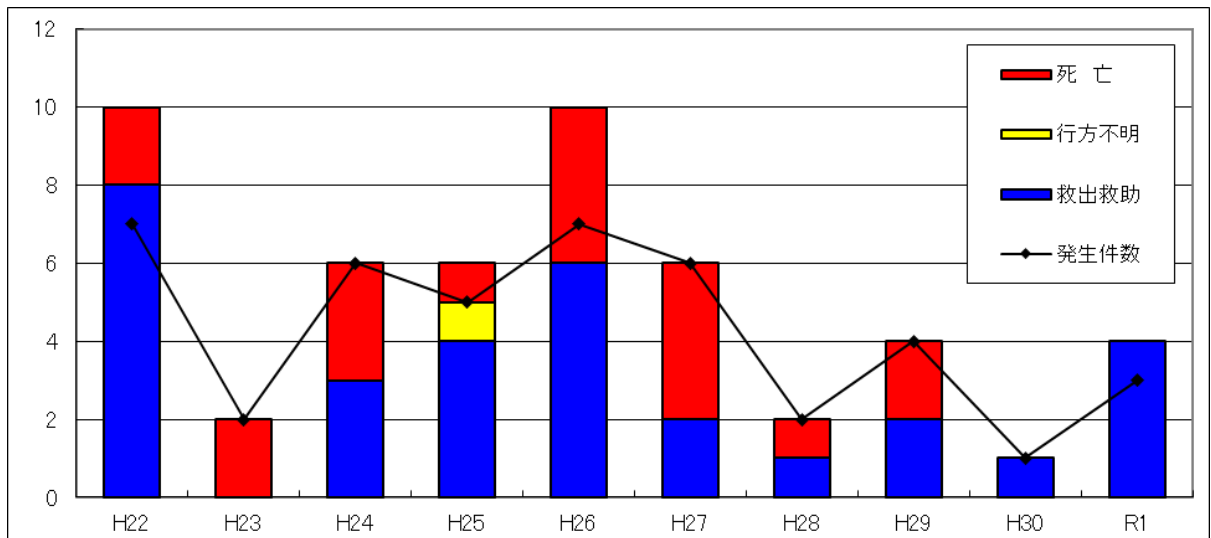
[子ども（中学生以下）の態様別水難事故発生状況]

態様別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
水遊び		2	3		3
魚釣り		1	1		1
合計		3	4		4

[過去10年間における子供（中学生以下）の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
平成22年		7	10	2	8
平成23年		2	2	2	
平成24年		6	6	3	3
平成25年		5	6	1	1
平成26年		7	10	4	6
平成27年		6	6	4	2
平成28年		2	2	1	1
平成29年		4	4	2	2
平成30年		1	1		1
令和元年		3	4		4

(件) (人)



10 高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況

- 高齢者（65歳以上）の事故の発生が、11件（前年比－2件）11人（前年比－4人）で、発生件数、事故者数ともに減少した。

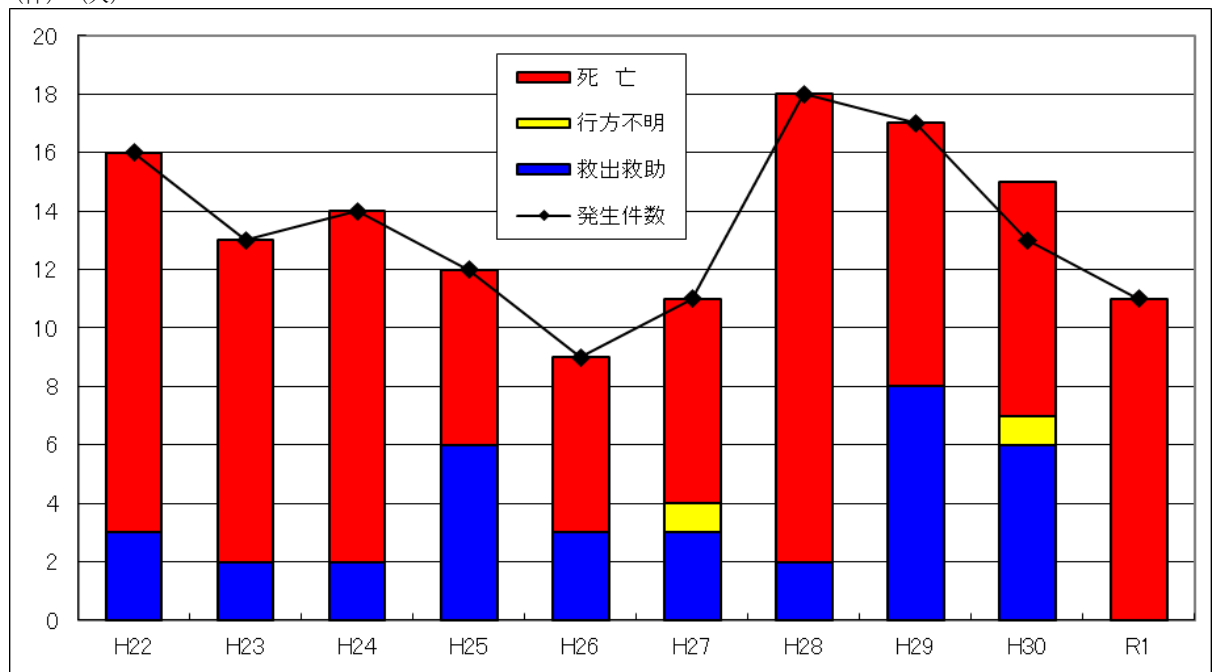
事故者数の内訳は、死亡11人（前年比＋3人）、行方不明0人（前年比－1人）、救出救助0人（前年比－6人）であった。

- 事故態様については、11件中、7件が魚釣り・魚取り中の事故であった。

[過去10年間における高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況]

年 別	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)			
		死 亡	行方不明	救出救助	
平成22年	16	16	13		3
平成23年	13	13	11		2
平成24年	14	14	12		2
平成25年	12	12	6		6
平成26年	9	9	6		3
平成27年	11	11	7	1	3
平成28年	18	18	16		2
平成29年	17	17	9		8
平成30年	13	15	8	1	6
令和元年	11	11	11		

(件) (人)



11 居住地別事故者数

- 事故者を居住地別にみると、県内居住者が15人（前年比±0人）と最も多く、次いで愛知県居住者が9人（前年比±0人）、神奈川県居住者が1人（前年比+1人）、であった。

[居住地別事故者数]

区 分 県 別	事 故 者 数 (人)					
		死者	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
岐 阜 県	15	13		1		1
愛 知 県	9	4				5
神 奈 川 県	1				1	
合 計	25	17		1	1	6

第2 水難救助活動の状況

1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ318人、消防署(団)員が延べ484人出動した。
○ 県警及び県防災のヘリコプターが4件の事故に対し延べ5回、警察・消防等の舟艇が4件の事故に対し延べ6回出動した。

区 分 年 別	発生件数 (件)	出動状況 (人)		へり出動		舟艇出動	
		警察官	消 防	件数	回数	件数	回数
令和元年	24	318	484	4	5	4	6
平成30年	27	301	374	12	13	6	10
増 減	-3	+17	+110	-8	-8	-2	-4



機動隊員による救助活動

2 救助事例

日 時	場 所	状 況
8月3日(土)	関市 板取川	会社員男性が遊泳中に溺れて流されているのを付近遊泳中の男性が発見し、自ら水中に潜り抱きかかえるとともに他の遊泳者が浮き輪を貸し与え救助した。
8月12日(月)	関市 板取川	子供が溺れ流されたのを付近遊泳中の男性が発見し救助するとともに、鮎釣り中の男性が人工呼吸するなどの連携により幼い命を救った。

関警察署長から感謝状を授与



(8月3日)



(8月12日)

3 水難救助訓練実施状況

- 県内には、長良川、木曾川、揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水などが数多く点在している。

機動隊及び各警察署では、水難事故に対して迅速かつ的確な救助活動を行うため、独自又は消防機関等と合同で水難救助訓練を実施した。



装備資機材取扱訓練



舟艇訓練

4 小型船舶操縦士の養成

- 水事故難の発生時において、舟艇を活用した水難救助活動を迅速的確に実施するため、水難救助用の小型船舶が配備されている警察署や機動隊の警察官を対象に「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

第3 その他

1 水上バイク等の事故防止対策

- レジャーの多様化、アウトドアスポーツの普及により、河川の利用環境は変化してきており、遊泳者や釣り人等の第三者を巻き込んだレジャー事故の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、広報啓発用看板の設置や河川のパトロールを実施するなどの活動を推進した。
- 令和元年中、水上バイクなどによる事故は0件であった。



水上バイク等利用者に対する広報活動(長良川)

[過去5年間における水上バイク等の事故発生状況]

区分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 総 数 (人)			
		死者	負傷	救出救助	
平成27年	0	0			
平成28年	1	4	2	2	
平成29年	1	1		1	
平成30年	4	5	1	4	
令和元年	0	0			

2 水難事故防止広報活動

- ◎ 県下の警察署では、7～8月の夏期に、関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、遊泳者、水上バイク利用者、釣り人などに対する事故防止広報や安全指導を行った。

また、交番・駐在所が発行するミニ広報紙や、テレビ、ラジオなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

- 岐阜中・岐阜北警察署では、ゴールデンウィークに合わせて、長良川河川敷において国土交通省木曾川上流河川事務所職員らと連携し、水難事故への注意を呼びかけた。



河川利用者に対する広報(長良川)

- 郡上署では、6月8日(鮎釣り解禁日)、郡上市内の和良川において、水難事故を呼びかけるチラシを鮎釣り客らに配布するなど広報を行った。

- 飛騨署では、6月22日、宮川下流の鮎釣り解禁に合わせ、河川における水難事故防止など、広報啓発活動を行った。



遊泳者に対する広報(武儀川)

- 揖斐署では、7月31日、8月3日、8月8日の3回、揖斐土木事務所河川安全利用推進協議会と連携して、揖斐川町内のオートキャンプ場利用者に対し、水難事故防止に向けた啓発活動を実施した。

- 関署では、8月10日、美濃市内美濃橋付近の長良川河川敷において、美濃市役所、中濃消防組合職員らと連携し、チラシを配布するなど広報啓発活動を行った。



鮎釣り客に対する広報(馬瀬川)

- 山県署では、8月13日、武儀川において、岐阜土木事務所、市役所、岐阜市消防美山分署職員と合同で、お盆時期の河川利用者に対して、チラシを配布するなど、水難事故防止を呼びかけた。

- 海津署では、夏期期間中の長良川において、木曾三川下流部水面利用協議会員と連携し、水上バイク等の安全利用やマナー向上のためパトロール及び広報活動を行った。

- 下呂署では、夏期期間中、馬瀬川において、漁協監視員と連携し、釣り客に対し水難事故防止に関する広報啓発活動を行った。



広報チラシ (関署・関市・美濃市作成)